

熱心に職場の様子などの説明に耳を傾けるマスク姿の参加者



就職フェア25法人出展

大学生ら250人熱心に

2021年新卒向けの福祉就職フェア「FUKUSHI meets」が2月19日に都内で開かれ、大学3年生ら250人以上が参加した。一般社団法人「FACEtofUKUSHI」(F2F)の主催。当日は新型コロナウイルス感染

症を防ぐため除菌などの徹底した対策がとられ、出店者と参加者ともにマスク姿で臨んだ。フェアには高齢や障害、子ども分野の福祉事業を運営する25法人が出展。多くの学生がブースにいる若手職員

の様子などを熱心に聞いていた。社会福祉法人聖隷福祉事業団は、全国に特別養護老人ホームや介護老健施設、病院など150カ所以上を運営しており、職員数は1万5000人を超える。関東地区だけでも10カ所以上あり、今年度には3

全員マスク コロナ厳戒

回目で、今回は新卒1年目の職員が学生に対して積極的に職場の魅力を伝えたという。近藤肇・同法人本部関東採用センター長は「40人以上がブースに座ってくれたが、ほかの就職フェアよりも福祉分野で働く意欲が高い印象。法人規模が大きいので、さまざまな職種に挑戦できることも伝えたい」と話した。

14年から開催されているフェアは、学生が集まりやすい仕掛けづくりや、出展法人を対象にした採用戦略セミナーなどが人気のイベントで、今年から愛知、京都、兵庫、福岡など全国的に展開する予定だった。しかし、新型コロナウイルスの影響でF2Fは2月21日、3月末までのフェアを中止すると発表。代替案については今後検討するという。

(鮫島隆祐)